R&Dフェーズ｜開発　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#B05

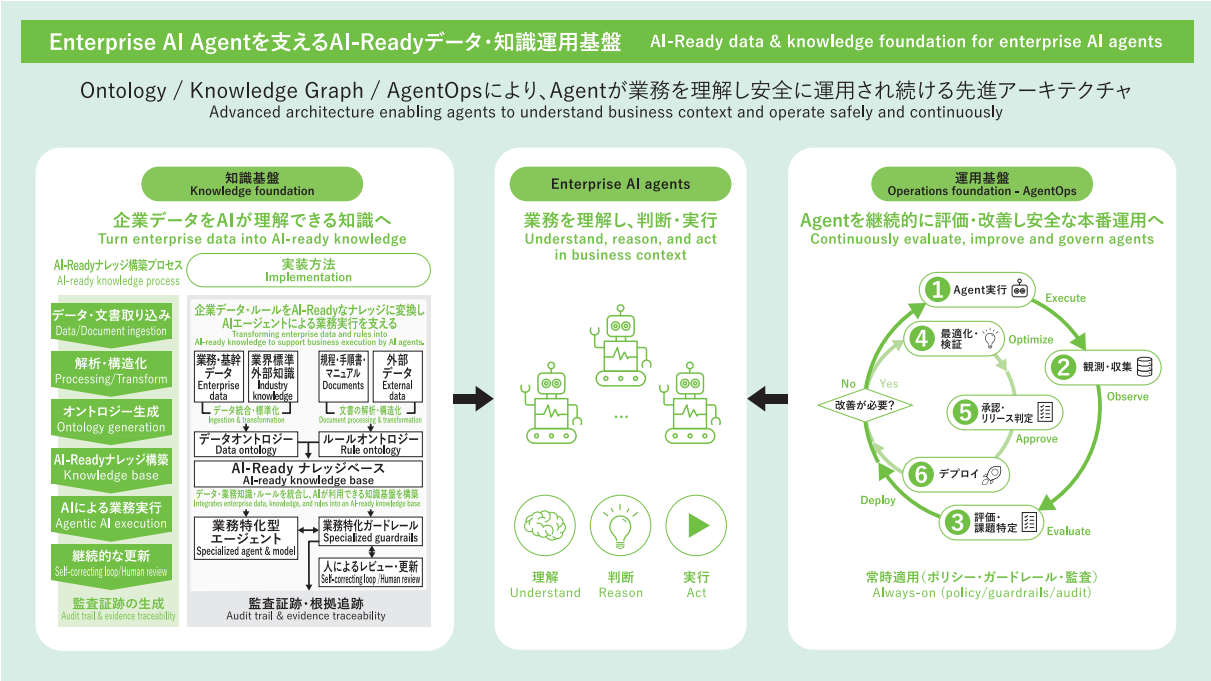
#DX・AX（デジタル変革）#AI倫理・責任あるAI

AI-Readyデータ・知識運用基盤

企業データを活用する知識・運用基盤で、業務に適応し続けるAIを実現します

技術課題 ・ゴール

AI活用が進む一方、企業内データは分散・非構造化されています。結果として意味や関係性、更新履歴が整わず、AIの判断根拠や安全性を担保しにくい課題があります。本技術はデータと知識を自動で構造化・更新し、AIの参照・実行・判断を検証可能にすることで、信頼できる業務自動化と継続的な改善を実現します。



技術ポイント

要素技術

・業界標準と顧客データを融合し、オントロジー作成からDWHデータのAI-Ready化、ナレッジグラフ構築までを一気通貫で自動化する技術

・AIのデータ参照・API実行・判断を可視化し、AgentOpsで評価・監視・改善。データ変更・操作をコミット前にポリシー検証する技術

市中技術差異点

・人手では数年を要するオントロジー整備を短期自動化し、変更時も自動更新することで運用工数・コストを大幅に削減

・AIが参照した情報や判断・実行のプロセスを可視化し、業務ルールに基づく操作の検証・制御と監査証跡の記録を実現する

適用ビジネス/ユースケース

情報技術

AIAgent基盤のためにおける、社内規程・マニュアル・FAQをオントロジーとして自動加工する知識基盤として利用することが可能。またAgentのふるまいを継続的に評価し、改善につなげる運用基盤も利用することが可能。

出展組織

株式会社NTTデータ
株式会社NTTデータグループ Global AI Office